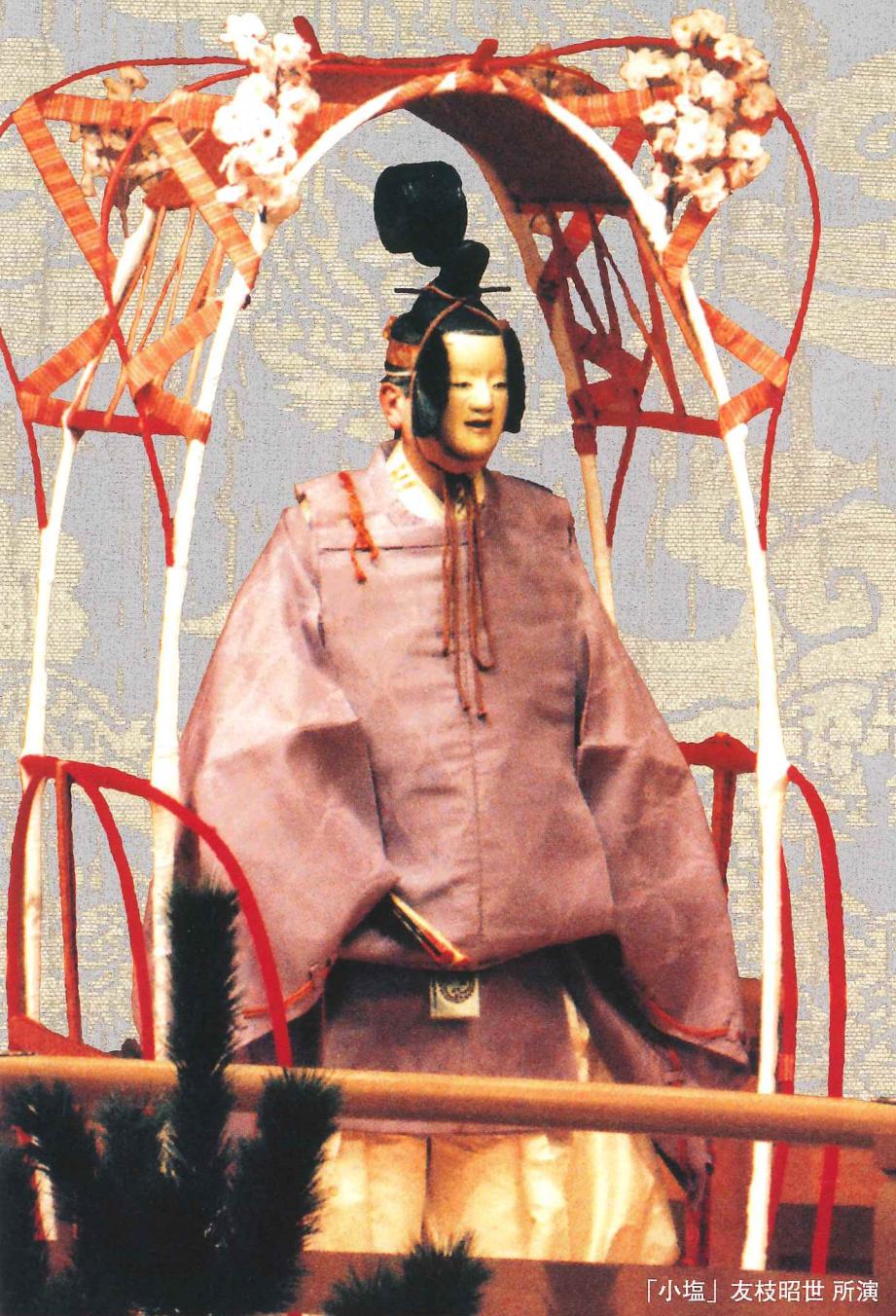




第十八回

# 仙台青葉能

※伊達家より家紋使用許可済み



「小塩」友枝昭世 所演

喜多流 能  
和泉流 狂言  
鶴ぬえ  
小お  
子こ  
塩しお  
シテ  
シテ  
人間国宝  
野村のむら  
友枝ともえ  
昭世あきよ  
佐々木多門ささきたもん

平成27年5月16日(土)  
午後1時30分開演(午後1時開場)  
電力ホール(仙台市青葉区)

入場料(全席指定・税込) S席 10,000円 A席 8,000円 B席 6,000円 学生席 2,500円

主催／仙台青葉能の会、(公財)仙台市市民文化事業団、河北新報社

お問い合わせ/河北チケットセンター ☎022(211)1189

※10時～17時 土・日・祝休

共催／電力ホール

◆協力 仙台市博物館、中尊寺、(公財)瑞鳳殿、NHK仙台放送局、伊達家伯記念會、白石市古典芸能伝承の館「碧水園」

◆後援 宮城県、仙台市、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、仙台市能楽振興協会

TBC東北放送、仙台放送、三ヤキテレビ、KHB東日本放送、Date fm、松井建設株東北支店

プレイガイド

藤崎、仙台三越、仙台市青年文化センター1階事務室、イズミティ21、チケットぴあ(Pコード 442-546)

電話でのお申し込み 河北チケットセンター ☎022(211)1189 ※10時～17時 土・日・祝休

※学生席は河北チケットセンターのみで販売 ※未就学児のご入場はご遠慮ください。



※伊達家より家紋使用許可済み

# 能「青葉台仙」

第十八回

## 献香之儀

仙台伊達家十八代当主 伊達 義宗

開演 午後一時三十分

一時四十五分

地謡

佐藤 長島 友枝

佐藤 宽一 泰了人

一時頃

休憩

大原山で桜狩を楽しむ男達の前に、桜の枝を持つた風流な老人が現れて「大原や小塩の山も今日こそは神代の事も思ひ出づらめ」と歌にした在原業平の謂われを教え語る。

夕霞に消え失せたその老翁は、実は業平の化身であり、花見車に乗つて歌舞の菩薩の姿をふたたび現して、月下の桜の蔭で優麗なる恋物語を舞い見せる。

典雅なる伊勢物語の世界。夢幻能ならではの余韻が残る名曲。

## 能「小塩」

大原山

弓八幡 佐藤 章雄

高野物狂道行 佐々木宗生

休憩

大原山で桜狩を楽しむ男達の前に、桜の枝を持つた風流な老人が現れて「大原や小塩の山も今日こそは神代の事も思ひ出づらめ」と歌にした在原業平の謂われを教え語る。

夕霞に消え失せたその老翁は、実は業平の化身であり、花見車に乗つて歌舞の菩薩の姿をふたたび現して、月下の桜の蔭で優麗なる恋物語を舞い見せる。

典雅なる伊勢物語の世界。夢幻能ならではの余韻が残る名曲。

喜多流

小お

後シテ・在原業平の靈 前シテ・樵翁 友枝 昭世

喜多流

塩しお

ワキ・都の人 森常好

大鼓

國川純

太鼓

小寺真佐人

松田弘之

笛

内田成信

大村靖定

太鼓

内田圭介

太鼓

大島輝久

笛

内田圭介

アイ・大原の里人 石田 幸雄

小鼓

鶴澤洋太郎

地謡

國川純

太鼓

小寺真佐人

松田弘之

笛

内田成信

大村靖定

太鼓

内田圭介

笛

内田圭介

アイ・大原の里人 石田 幸雄

小鼓

鶴澤洋太郎

地謡

國川純

太鼓

小寺真佐人

松田弘之

笛

内田成信

大村靖定

太鼓

内田圭介

笛

内田圭介

アイ・大原の里人 石田 幸雄

小鼓

鶴澤洋太郎

地謡

國川純

太鼓

小寺真佐人

松田弘之

笛

内田成信

大村靖定

太鼓

内田圭介

笛

内田圭介

和泉流

柑こう

シテ・太郎冠者 野村 万作

内田邦生 中村常太郎

大鼓

國川純

太鼓

小寺真佐人

松田弘之

笛

内田成信

大村靖定

太鼓

内田圭介

笛

内田圭介

和泉流

柑こう

内田邦生 中村常太郎

大鼓

國川純

太鼓

小寺真佐人

松田弘之

笛

内田成信

大村靖定

太鼓

内田圭介

笛

内田圭介

喜多流

鶴ぬえ

アイ・蘆屋の里人 内藤 連

佐々木多門

大鼓

國川純

太鼓

小寺真佐人

松田弘之

笛

内田成信

大村靖定

太鼓

内田圭介

笛

内田圭介

なつ

ています。

鸕とは、さまざまな獣の部分を持つ異なる姿の化け物。その靈魂が旅僧の前に舟人として現れて、源賴政によつて退治された昔語りをして救いを求めて消え失せる。僧が読経をし弔つていると、鸕の靈が恐ろしい本性の姿で出現し、宮廷を脅かしたことから討たれて海に流された有様を語り見せる。成仏の道へ引かれつつ、やがて海へと消えてゆく。

平家物語に典拠をとつた、世阿弥作ともいわれる曲。主に前段は頼政側、後段は討たれた鸕の側からの妖怪退治談を見せて、二面を併せ持つという凝った作りとなつています。